

104	款・項・目	4・1・1	目名称	保健衛生総務費	目の決算額	298,752,482	104
	事務事業名称	健康づくり推進事業					
	事業コスト(千円)	19,695	【うち人件費 15,535 うち減価償却費 1,288 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 市民及び市域						
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 健康づくりに取り組む市民や健康づくりを支える推進員が増え、「健康都市おおぶ」としてまちが活性化しています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合		54.6	／	56	%	
	食事をかんで食べる時の状態が「何でもかめる」人の割合		75.3	／	72	%	
	朝ごはん野菜を「週4日以上食べる」子どもの割合		25.2	／	32	%	
実施内容	1 健康づくりチャレンジ (1) 企業チャレンジ 令和元年度：58社、令和2年度：63社、令和3年度：69社 (2) 一般チャレンジ 令和元年度：447人、令和2年度：557人、令和3年度：461人						
	2 おおぶー生元気ポイント制度 令和元年度：4,136枚、1,904人、令和2年度：1,468枚、758人、令和3年度：3,042枚、1,448人						
	3 禁煙強化対策の推進 敷地内禁煙：2回 禁煙外来治療費助成：申請者数 令和元年度：25人、令和2年度：29人、令和3年度：7人 街頭キャンペーン：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
	4 第14回大府シティ健康ウォーキング大会(市制50周年Plus1記念事業) 令和元年度：604人、令和2年度、令和3年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
	5 あいち健康プラザ健康づくりコース利用料助成 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度、令和3年度は健康づくり施設利用料補助のみ実施しました。 申請者数：令和元年度：127人、令和2年度：2人、令和3年度：39人 延利用回数 令和元年度：227回、令和2年度：0回、令和3年度：77回						
	6 大府市健康づくり推進員協議会及び大府市健康づくり食育推進協議会の活動支援 健康づくり推進員数 令和元年度：53人、令和2年度：48人、令和3年度：38人 食育推進員数 令和元年度：31人、令和2年度：30人、令和3年度：28人						
事業の評価	妥当性評価	市民の健康づくりを推進するための環境整備は、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しましたが、ウォーキング大会等は歩行又は身体活動の増加に有効です。					
	効率性評価	企業や歯科医師会等関係機関と協働で実施することで、広く市民に周知することができました。健康づくり推進員協議会及び食育推進協議会の活動支援は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き書面で効率的に情報共有を図りました。					
事業費	左の財源内訳						
	2,323,902	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		198,949	0	0	2,124,953		

主要事業No 1

主要事業No 1

104	款・項・目	4・1・1	目名称	保健衛生総務費	104
	事務事業名称	健康づくり推進事業			
	事業コスト(千円)				
実施 内容	7	健康ボランティア養成講座 大府市健康づくり推進員及び大府市健康づくり食育推進員の養成講座を実施しました。 令和元年度：延べ参加者数412人（講座回数16回） 令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和3年度：延べ参加者数168人（講座回数8回）			
	8	8020表彰・9020表彰 8020表彰者 令和元年度：79人、令和2年度：51人、令和3年度：98人 9020表彰者 令和元年度：8人、令和2年度：3人、令和3年度：6人			
	9	こども料理コンクールビストロおぶちゃん（市制50周年Plus1記念事業） 応募数 令和元年度：1,009組、令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和3年度：574組			
	10	朝ベジの普及・啓発 朝ベジ（朝食での野菜摂取）の健康効果を啓発し、生活習慣の予防を図るため、3歳児健診時に集団朝ベジ指導を実施しました。 対象者 令和元年度：699人、令和2年度：889人、令和3年度：928人			
	11	フッ化物洗口 年長児 令和元年度：879人 実施率98.9%、令和2年度：889人 実施率97.9% 令和3年度：894人 実施率97.5%			

105	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	目の決算額	217,923,561	105			
	事務事業名称	成人健康診査事業								
	事業コスト(千円)	199,703	【うち人件費 12,318 うち減価償却費 950 】							
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）									
	15歳以上の市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 疾病の早期発見や自身の健康状態を把握し、健康増進を図ることができます。									
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位				
	特定健康診査受診率		51.8	/	58	%				
	大腸がん検診受診率		13.7	/	17	%				
				/						
実施内容	1 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査の実施									
	(1) 集団健康診査（実施回数） 105回 {平日56回、夜間2回、休日3回、人間ドック14回（うち休日3回）、レディースドック30回（うち休日6回）}									
	(2) 個別健康診査（実施機関）：市内医療機関等27か所、JAあいち組合員健康診査									
	(3) 受診者数（単位：人、%）									
	年度	R1年度		R2年度			R3年度			
	実施回数	119回		80回			105回			
		対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
	国保	11,795	6,688	56.7	11,563	4,782	41.4	11,211	5,808	51.8
	後期	10,628	4,531	42.6	10,842	3,984	36.7	11,241	4,809	42.8
	生活保護	283	43	15.2	273	23	8.4	265	34	12.8
2 健康増進法に基づくがん検診										
がんの早期発見、早期治療を目的にがん検診を実施しました。										
(1) 集団検診（実施回数）：胃 56回、子宮 42回、乳房 44回、大腸 随時、肺（X-P）103回、肺（喀痰細胞診）随時、前立腺 26回、胃ハイリスク 随時										
(2) 個別検診（実施機関）：胃 2医療機関、子宮 2医療機関及び2検診機関、乳房 2検診機関、肺（X-P）22医療機関										
事業の評価	妥当性評価	高齢者の医療の確保に関する法律により、特定健康診査、特定保健指導は医療保険者が実施することが定められており大府市国民健康保険加入者などは市が実施すべき事業です。また、健康増進法により市民へのがん検診の実施や普及啓発は市が実施すべき事業です。								
	有効性評価	市民の受けやすい健康診査会場が確保できており、生活習慣病の早期発見や予防に有効です。								
	効率性評価	定期的に健康診査やがん検診を受診することで、疾病の早期発見、早期対応に繋がり、ひいては医療費の削減になります。								
事業費	左の財源内訳									
	186,030,134	国県支支出金	地方債	その他	一般財源					
		6,485,305	0	99,104,448	80,440,381					

105	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	105
	事務事業名称	成人健康診査事業			
	事業コスト(千円)				

(3) 受診者数 (単位：回、人)

	R1年度		R2年度		R3年度	
	がん検診	(再掲) 補助事業	がん検診	(再掲) 補助事業	がん検診	(再掲) 補助事業
胃	2,695	-	2,448	-	2,636	
子宮	2,957	(23)	2,617	(19)	2,966	(30)
乳房	2,843	(114)	2,391	(90)	2,604	(84)
大腸	3,675	-	3,204	-	3,600	-
肺(X-P)	10,100	-	8,748	-	10,821	-
肺(喀痰細胞診)	88	-	72	-	81	-
前立腺	959	-	848	-	934	-
胃ハイリスク	371	-	274	-	297	-
合計	23,688	(137)	20,602	(109)	23,938	(114)

3 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業（国の補助事業：実績人数は前項の表のとおり）

(1) がん検診無料クーポン事業

子宮頸がん検診と乳がん検診の無料クーポン券を以下の対象者に配布しました。

（子宮頸がん検診）対象：20歳の女性 471人 （乳がん検診）対象：40歳の女性 619人

(2) 個別勧奨

がん検診について対象者の方に個別受診勧奨を行いました。 受診勧奨者数19,321人

(3) 精密検査未受診者への受診勧奨

がん検診精密検査未受診者に対し、郵送等にて受診勧奨しました。 受診勧奨者数229人

実施
内容

4 長寿ドック受診料補助金の交付 交付者数 R1年度：30人 R2年度：37人 R3年度：40人

5 成人歯科健康診査

(1) 対象者 20、25、30、35、40、45、50、55、60、65、70歳

(2) 実績

年度	R1年度	R2年度	R3年度
対象者数(人)	12,835	12,656	12,436
受診者数(人)	827	787	660
受診率(%)	6.4	6.2	5.3

(3) 要精密検査結果の把握（40、50、60、70歳）

要精密検査と診断された115人のうち65人の方が精密検査を受診しました。

精密検査受診率 R3年度：56.5%（R4年3月末時点）

106	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	目の決算額	217,923,561	106	
	事務事業名称	成人保健指導事業						
	事業コスト(千円)	6,989	【うち人件費 5,623 うち減価償却費 468 】					
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)							
	15歳以上の市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 市民の健康の保持増進することができます。							
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位		
	ゲートキーパー養成研修延べ受講者数		342	/	460	人		
				/				
実施内容	1 ゲートキーパー養成講座 市職員及び市民に向けたゲートキーパー養成講座を実施し、自死対策に関する人材を育成しました。							
			実施回数	受講者数				
	R2年度		5	216				
	R3年度		5	126				
2 健康相談 生活習慣病やメンタルヘルス等健康に関する相談に対応しました。								
(1)成人健康相談								
		年度	電話	面接	合計			
R1年度		8	209		217			
R2年度		20	6		26			
R3年度		24	8		32			
※令和2年度より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域での集会等が中止となり、面接による相談機会が減少しました。								
(2)精神保健相談 (件)								
		年度	電話	面接	訪問	メール	他機関との調整等	合計
R1年度		134	8	29	1	59	231 (実25人)	
R2年度		272	17	15	0	65	369 (実30人)	
R3年度		146	13	9	0	12	180 (実31人)	
事業の評価	妥当性評価	自死対策計画に基づき、自死に関する理解を深め、悩みを抱えている人への介入を促すため市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	ゲートキーパー養成講座を実施することで、全庁的に自死について理解を深めることができました。また、市民にもゲートキーパーとは何か周知を広めることにつながっています。						
	効率性評価	ゲートキーパー養成講座を職員向けと市民向けに分けて実施することで、対象者の立場やレベルに合わせた研修を行うことができました。						
事業費	左の財源内訳							
			国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
	699,458		376,994	0	55,020 (基金55,020)	267,444		

107	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	目の決算額	217,923,561	107
	事務事業名称	介護予防事業					
	事業コスト(千円)	52,583	【うち人件費 18,384 うち減価償却費 2,468 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	65歳以上の市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 要介護状態になることを予防します。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	健康長寿塾参加者数		2,261	／	4,500	人	
	えん下機能が低下している市民の割合		25.4	／	15	%	
	栄養パトロールアンケート回収率		73.3	／	57	%	
実施内容	1 健康長寿塾 地域の運動指導員によるコグニサイズを中心とした運動や脳トレを行う教室を実施しました。 市内4か所（東山公民館、大府公民館、吉田公民館、長草公民館） 期間4月1日～3月31日						
		R1年度	R2年度	R3年度			
	開催回数（回）	115	84	113			
	参加実人数（人）	233	190	245			
	参加延人数（人）	5,355	1,924	2,261			
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言期間中は中止						
	2 介護予防教室事業所委託（はつらつ運動コース） 市内5事業所 対象者1人につき12回実施 参加実人数 R1：8人 R2：6人 R3：5人						
	3 認知症不安ゼロ作戦委託						
	(1) プラチナ長寿健診（認知症予防健診）						
		R1年度	R2年度	R3年度			
	受診者数（人）	1,344	920	1,270			
	(2) コグニノート						
		R1年度	R2年度	R3年度			
	配布者数（人）	1,239	1,408 (245)	1,640 (282)			
	() 内は74歳以下						
	(3) 高齢者の安全運転技能検査 運転技能簡易検査を実施しました。 受診者数：481人						
事業の評価	妥当性評価	介護保険制度に基づき、65歳以上の高齢者の健康寿命を延ばし、ハイリスク者のフレイル予防・認知症予防を目的とした介護予防事業は市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	プラチナ長寿健診、安全運転技能検査及び食べる機能健診を同時に実施することで、認知症予防や口腔機能の多方面から気づきを促すことができました。一体的実施事業はフレイル状態を予防することに有効です。					
	効率性評価	健康長寿塾やコグニバイクでは市民がボランティアとして協力することで、効率的に実施ができています。プラチナ長寿健診、安全運転技能検査及び食べる機能健診を同時に実施することで勧奨や運営に係るコストを削減することができました。					
事業費	左の財源内訳						
		国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
	31,193,969	0	0	27,892,546	3,301,423		

107	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	107
	事務事業名称	介護予防事業			
	事業コスト(千円)				

4 食べる機能健診（口腔機能健診）
 口腔機能の低下を早期に気づき、口腔状態を整えたり意識したりすることによって低栄養や誤えん性肺炎等を予防するため、プラチナ長寿健診に併せて実施しました。

	R1年度	R2年度	R3年度
受診者数（人）	1,272	881	873

5 健康教育
 寿大学や老人クラブ等に保健師、栄養士、歯科衛生士が出向き健康増進や介護予防について出前講座を行いました。

参加延べ人数 R1:87回実施、4,673人 R2:58回実施、1,671人 R3:56回実施、1,262人

6 コグニバイク
 コグニバイクを利用してコグニサイズの実施を勧奨しました。

	R1年度	R2年度	R3年度
使い方講習会（回）	29	18	随時
新規登録者数（人）	66	21	35
延利用者数（人）	4,749	1,451	1,703

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4台のバイクを1～2台に減らして実施

7 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（専任保健師の配置）

(1) ハイリスク者フォロー事業

プラチナ長寿健診、食べる機能健診、栄養パトロールの結果から要介護状態のハイリスクな方へ保健師、歯科衛生士、管理栄養士が訪問・電話等により支援しました。（単位：人）

	R1年度				R2年度				R3年度			
	実人数	延人数			実人数	延人数			実人数	延人数		
		訪問	面接	電話		訪問	面接	電話		訪問	面接	電話
保健師	100	60	15	52	64	40	6	37	54	26	4	38
歯科衛生士	69	14	9	66	41	3	13	39	41	6	4	46
管理栄養士	46	94	0	17	63	100	16	49	27	51	11	39

(2) 栄養パトロール

75歳以上の健診・医療未受診者に管理栄養士が訪問しました。

	R1年度	R2年度	R3年度
訪問対象者（人）	251	190	146
把握数（人）	177	150	107

(3) 糖尿病性腎症重症化予防事業

重症化予防のための保健事業や受診勧奨を実施しました。参加者：26名 受診勧奨：8名

(4) 通いの場等での健康教育・健康相談

通いの場へ専門職が出向きフレイル予防に関する健康教育や後期高齢者の質問票によるフレイルの把握を行いました。

回数：23回 述べ参加者数：334人 高齢者の質問実施者数：198人 フレイルの恐れあり：41人

実施
内容

108	款・項・目	4・1・3	目名称	母子保健推進費	目の決算額	256,758,651	108				
	事務事業名称	母子健康診査事業									
	事業コスト(千円)	154,526	【うち人件費 26,836 うち減価償却費 2,504 】								
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 妊産婦、乳幼児及びその保護者										
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 妊産婦及び乳幼児の健康状態を安定的にし、保護者が安心できる支援体制の整った環境で子育てができるようにします。										
評価指標	指標名		令和3年度実績値		／	令和3年度計画値	単位				
	3歳児健診受診率		98.0		／	100	%				
	産婦健康診査受診率		85.8		／	83	%				
	乳児健康診査受診率		79.5		／	77	%				
実施内容	1 乳幼児(歯科)健康診査 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止期間有										
	(1) 4か月児健康診査 R1年度:37回 R2年度:39回 R3年度:36回										
	(2) 1歳6か月児(歯科)健康診査 R1年度:38回 R2年度:41回 R3年度:39回										
	(3) 2歳児歯科健康診査 R1年度:23回 R2年度:19回 R3年度:20回										
	(4) 2歳6か月児歯科健康診査 R1年度:21回 R2年度:19回 R3年度:19回										
	(5) 3歳児(歯科)健康診査 R1年度:38回 R2年度:41回 R3年度:40回										
	(6) 乳幼児健康診査、幼児歯科健康診査受診状況 (単位:人、%)										
			R1年度		R2年度		R3年度				
			対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率			
	4か月児健診		832	815	98.0	997	970	97.3	838	836	99.8
	1歳6か月児健診		844	838	99.3	1,018	959	94.2	946	928	98.1
	2歳児歯科健診		873	530	60.7	1,021	618	60.5	820	554	67.6
2歳6か月児歯科健診		879	477	54.3	959	445	46.4	845	471	55.7	
3歳児健診		894	876	98.0	1,026	960	93.6	971	952	98.0	
2 妊産婦・乳児健康診査及び妊産婦歯科健康診査医療機関委託											
妊産婦・乳児健康診査及び妊産婦歯科健康診査受診票利用状況 (単位:件、%)											
		R1年度		R2年度		R3年度					
		受診件数	受診率	受診件数	受診率	受診件数	受診率				
妊婦健康診査(15回)		12,715	83.2	11,763	77.7	11,683	85.5				
(再掲)多胎(5回)		-	-	-	-	3	4.3				
産婦健康診査(2回)		1,682	79.4	1,620	77.7	1,620	85.8				
乳児健康診査(2回)		1,677	76.7	1,457	67.3	1,553	79.5				
新生児聴覚検査(1回)		805	75.4	872	83.9	821	87.2				
妊産婦歯科健康診査(1回)		353	36.5	334	34.9	329	33.2				
妊婦健康診査15回のうち1回は子宮頸がん検診											
事業の評価	妥当性評価	母子保健法に定められており、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進を図ることは、市が実施すべき事業です。									
	有効性評価	乳幼児健康診査の受診率は高い数値で推移しており、乳幼児の発育・発達の確認と疾病の早期発見・予防、保護者の育児不安の解消など広く役立っています。									
	効率性評価	乳幼児健康診査では、限られた時間の中で効率的に必要な支援や情報提供を行うことができました。									
事業費	左の財源内訳										
	124,439,760	国県支出金	地方債	その他	一般財源						
		4,009,000	0	6,084,070	(基金6,084,070) 114,346,690						

109	款・項・目	4・1・3	目名称	母子保健推進費	目の決算額	256,758,651	109
	事務事業名称	母子保健指導事業					
	事業コスト(千円)	162,417	【うち人件費 27,759 うち減価償却費 1,641 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 乳幼児及び乳幼児の保護者及び不妊治療をしている市民						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 妊産婦や乳幼児が安心して子育てができる環境が整っています。不妊治療対象者が安心して適切な医療受診ができるようにします。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	こんにちは赤ちゃん訪問実施率		90.6	／	94	%	
	子育てが楽しいと思える時が「よくある」人の割合		86.7	／	84	%	
実施内容	1 子育て世代包括支援センター 子育て世代包括支援センターを拠点として、妊娠期から切れ目ない支援を実施しました。 母子健康手帳の新規交付数 R1年度：975冊、R2年度：889冊、R3年度：864冊						
	2 訪問指導 (1) こんにちは赤ちゃん訪問 助産師又は保健師が家庭訪問をして母子の心身の状態、育児状況等の把握と相談、助言及び指導を実施しました。赤ちゃん訪問での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、補助金を活用してガウン、マスク、消毒用アルコールを購入し、感染対策を徹底しました。 訪問回数 R1年度：913件、R2年度：820件、R3年度：817件 (2) 妊産婦及び乳幼児への訪問 妊産婦や育児支援が必要な母子に対して助産師や保健師、管理栄養士、歯科衛生士が訪問による相談、指導を実施しました。（こんにちは赤ちゃん訪問を含む） ア 訪問回数 R1年度：2,249件、R2年度：1,978件、R3年度：1,850件 イ R3年度の対象者別訪問回数（再掲）妊産婦：843件、乳児：871件、幼児：134件、その他：2件						
3 産後ケア事業 母体の休養及び体力の回復並びに母体ケア及び乳児ケアを実施する産後ケアを医療機関に委託して実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、補助金を活用して市内2医療機関に消毒用エタノールを配布し、事業継続を支援しました。 R1年度：8人 34日 R2年度：11人 50日 R3年度：7人 33日							
4 不妊治療費補助 不妊検査・不妊治療を受けた夫婦に対して、医療に要した費用を対象に補助金を交付しました。 (1) 一般不妊治療（申請数） ア 不妊検査、不妊治療 R1年度：132組 R2年度：160組 R3年度：156組 イ 人工授精（再掲） R1年度：54組 R2年度：72組 R3年度：113組 (2) 特定不妊治療（申請数） R2年度：90組 R3年度：294組							
事業の評価	妥当性評価	母子保健法の定めにより、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進を図ることと、また妊娠を希望している子育て世代への経済的支援は、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	産前から産後まで切れ目ない支援が受けられるような環境を市民に提供することができました。					
	効率性評価	新型コロナウイルス感染症の影響で一部事業の中止や縮小もありましたが、必要な相談、教育、訪問事業について、感染対策を徹底して実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	132,318,891	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		7,930,277	0	92,930,155 (基金91,110,965)	31,458,459		

主要事業No 137

主要事業No 137

109	款・項・目	4・1・3	目名称	母子保健推進費	109											
	事務事業名称	母子保健指導事業														
	事業コスト(千円)															
実施 内容	<p>5 不育症治療費補助 不育症の診断を受け不育症治療を受けた夫婦に対して、医療に要した費用を対象に補助金を交付しました。 申請数 R3年度：2組</p>															
	<p>6 ことばの相談 医師、言語聴覚士及び臨床心理士による幼児のことばの発達や発音について相談を実施しました。 利用者数 R1年度：47人、R2年度：46人、R3年度：44人</p>															
	<p>7 養育医療の給付 未熟児であり、医師が入院養育が必要と認めた児に対し、養育医療の給付を行いました。 R1年度：31件 R2年度：33件 R3年度：37件</p>															
	<p>8 大府市臨時特別出産祝金 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから、大府市臨時特別出産祝金の支給を延長し、出産及び子育てに係る生活を支援しました。</p>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請数(件)</td> <td>648</td> <td>891</td> </tr> <tr> <td>支給数(人)</td> <td>653</td> <td>904</td> </tr> <tr> <td>支給金額(円)</td> <td>65,300,000</td> <td>90,400,000</td> </tr> </tbody> </table>						R2年度	R3年度	申請数(件)	648	891	支給数(人)	653	904	支給金額(円)	65,300,000
	R2年度	R3年度														
申請数(件)	648	891														
支給数(人)	653	904														
支給金額(円)	65,300,000	90,400,000														

110	款・項・目	4・1・4	目名称	予防費	目の決算額	972,628,265	110
	事務事業名称	感染症予防事業					
	事業コスト(千円)	320,150	【うち人件費 15,765 うち減価償却費 1,126 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 感染症のり患を防止し、感染症の蔓延が予防されています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位	
	麻しん風しん(MR)第1期接種率		99.2	/	100	%	
	高齢者インフルエンザ接種率		64.9	/	64	%	
				/			
実施内容	1 予防接種法による定期の予防接種の実施(個別接種)						
	(1) 乳幼児 (単位:件)						
		R1年度	R2年度	R3年度			
	ロタ		861	1,934			
	ヒブ	3,521	3,734	3,342			
	小児用肺炎球菌	3,657	3,623	3,332			
	B型肝炎	2,701	2,650	2,463			
	4種混合	3,687	3,719	3,350			
	不活化ポリオ	4	3	1			
	BCG	912	933	829			
MR(1期、2期)	1,834	1,828	1,788				
水痘	1,811	1,823	1,689				
日本脳炎(1期)	3,020	2,954	1,733				
(2) 児童生徒 (単位:件)							
	R1年度	R2年度	R3年度				
2種混合	823	829	862				
日本脳炎(2期)	981	1,043	※1 238				
子宮頸がん	21	158	※2 317				
※1 日本脳炎ワクチンの供給量の大幅な減少により、日本脳炎(2期)対象者への案内を令和4年3月に延期しました。 ※2 子宮頸がん予防ワクチンについて、令和3年11月に積極的勧奨の差し控えが終了しました。							
事業の評価	妥当性評価	予防接種法により、定期接種は市が実施するように定められており、市民の健康維持のために市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	未接種者に対して接種を勧奨し、接種率向上に努めました。					
	効率性評価	市内医師団と協力して事業を効率よく実施できました。					
事業費	左の財源内訳						
	302,779,509	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		6,330,453	0	3,283,135 (基金2,299,250)	293,165,921		

110	款・項・目	4・1・4	目名称	予防費	110
	事務事業名称	感染症予防事業			
	事業コスト(千円)				
実施 内容	(3) 高齢者 (単位:件)				
		R1年度	R2年度	R3年度	
	インフルエンザ	12,365	※ 15,049	13,281	
	高齢者肺炎球菌	667	570	516	
	※ R2年度は新型コロナウイルス感染症発生に伴い、インフルエンザ拡大防止のため、県の補助を受け、自己負担額を無料として実施しました。				
	(4) 風しんの追加的対策(MR)				
	風しんの感染拡大防止のため、抗体保有率の低い世代の男性に抗体検査、予防接種を実施しました。				
		R1年度	R2年度	R3年度	(単位:件)
	風しん抗体検査	1,206	1,596	907	
	風しん	0	2	0	
	麻しん風しん混合	240	343	217	
	2 任意の予防接種の助成				
	(1) 成人風しんワクチン、麻しん風しん混合ワクチン				
	生命に関わる感染症を予防するためのワクチン接種について、定期接種となっていない任意の予防接種及び風しん抗体検査について、接種及び検査費用を助成しました。				
		R1年度	R2年度	R3年度	(単位:件)
	風しん抗体検査	158	92	55	
	成人風しん	0	2	1	
	成人麻しん風しん混合	113	75	51	
(2) 季節性インフルエンザ予防接種の助成					
受験生の学習支援及び重症化予防として、中学3年生、高校3年生の年齢に達する方に対し、接種費用を助成しました。					
R1年度 1,028件 R2年度 1,039件 R3年度 799件					
(3) 医療行為により免疫を失った場合の定期予防接種再接種					
小児がん等により免疫を抑制する治療を受けた児に対する定期接種の再接種費用を助成しました。					
R1年度 3人 R2年度 0人 R3年度 1人					
3 広域予防接種					
愛知県内の大府市外の医療機関で定期の予防接種を実施しました。					
R1年度 1,704件 (A類疾病 1,321件、B類疾病 383件)					
R2年度 1,998件 (A類疾病 1,569件、B類疾病 429件)					
R3年度 1,785件 (A類疾病 1,310件、B類疾病 475件)					
A類疾病: ロタ・ヒブ・小児用肺炎球菌・B型肝炎・4種混合・不活化ポリオ・BCG・MR・水痘 日本脳炎・2種混合・子宮頸がん					
B類疾病: 高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌					
4 予防接種費用の補助					
愛知県外で予防接種を実施した場合の予防接種費用を助成しました。					
R1年度 184件 (A類疾病 174件、B類疾病 10件)					
R2年度 203件 (A類疾病 166件、B類疾病 37件)					
R3年度 183件 (A類疾病 157件、B類疾病 26件)					

110	款・項・目	4・1・4	目名称	予防費	110
	事務事業名称	感染症予防事業			
	事業コスト(千円)				
実施 内容	5 感染症対策				
	(1) 大府市感染症対策本部員会議の開催 市長を本部長とし、感染症に関する情報の集約や感染対策について協議し、市の感染対策方針について協議、決定しました。 開催回数：42回				
	(2) 大府市感染症対策条例の改正 大府市感染症対策条例について、予防接種に関することを理由として、差別的取扱い又は誹謗中傷をしてはならない規定を追加する改正を行いました。				
	(3) 感染症予防に関する啓発 感染症予防に関する情報について、広報おおぶ、市公式ウェブサイト、チラシ等で周知し、感染予防啓発をしました。				
	(4) 感染症対策物品の配布 アルコール製剤、掃除用消毒剤等を市内公共施設等に配布しました。				
(5) 感染症対策備蓄品の購入 感染症予防のため、防護服や防護眼鏡、手袋等の感染防護キットを購入しました。					

111	款・項・目	4・1・4	目名称	予防費	目の決算額	972,628,265	111
	事務事業名称	新型コロナウイルスワクチン接種事業					
	事業コスト(千円)	696,628	【うち人件費 74,069 うち減価償却費 3,718 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 新型コロナウイルス感染症のり患を防止し、感染症の蔓延が予防されています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	接種率		78.1	／	70	%	
				／			
				／			
実施内容	1 予防接種法(臨時接種)による新型コロナウイルスワクチン接種の実施 国が定めた対象年齢の市民に対し、ワクチン接種を実施しました。 (1) 対象人数 初回接種(1、2回目:5歳以上):89,732人、追加接種(3回目:12歳以上):82,367人 (2) ワクチン接種回数 初回接種:1人2回、追加接種:1人1回 (3) 接種回数 初回接種(接種率):1回目 70,739人(78.4%)、2回目 70,164人(78.1%) 追加接種(接種率):37,895人(46.0%)						
	2 接種体制 (1) 集団接種:市内公共施設、民間施設等で148回集団接種を実施しました。 接種期間:令和3年4月から令和4年3月まで 接種会場:保健センター、市役所、愛三文化会館、メディアス体育館おおぶ、 公民館4館(神田・北山・長草・吉田)、愛三工業株式会社 アイサンスポーツセンター 株式会社豊田自動織機技術技能ラーニングセンター、株式会社スギ薬局 接種人数:延べ25,299人 (2) 個別接種:国立長寿医療研究センターの他、市内約40医療機関等で接種を実施しました。 接種期間:令和3年5月から令和4年3月まで 接種人数: ア 個別医療機関等(12歳以上、職域接種等含む):延べ114,630人 イ 国立長寿医療研究センター(12歳以上):延べ19,544人 ウ 小児(5歳から11歳)接種:延べ424人 (3) 大規模接種会場:県が設置した藤田医科大学病院で接種を実施しました。 接種期間:令和3年5月から令和4年3月まで 接種人数:12歳以上、延べ18,901人						
事業の評価	妥当性評価	予防接種法(臨時接種)により、市が実施するように定められており、感染症のまん延予防のため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	新型コロナウイルスワクチンの接種を希望するすべての市民へ接種できるよう、速やかに接種体制の準備を行い、接種を実施しました。					
	効率性評価	市内医師団等や関係機関と調整し、ワクチンの供給量に合わせ、接種人数や日程を計画し、効率的に接種を実施しました。					
事業費	左の財源内訳						
	624,774,204	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		624,774,204	0	0	0		

112	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	127,861,849	112																													
	事務事業名称	地域環境美化推進事業																																		
	事業コスト(千円)	22,299	【うち人件費 13,805 うち減価償却費 388 】																																	
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 市内全域																																			
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 雑草が除去され、適正な管理の保たれている土地(あき地)が増加するとともに、ポイ捨て・不法投棄ごみのない、清潔で快適な環境が保たれています。																																			
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位																														
	不法投棄対応件数		151	／	165	件																														
	不法投棄家電回収台数		10	／	21	台																														
実施内容	1 「健康都市おおぶ」みんなで美しいまちをつくる条例により地域環境美化を推進しました。 (1) リーフレットの配布などにより啓発しました。 (2) JR大府駅前の路上禁煙地区を拡大し、JR大府、共和両駅前の路上禁煙地区で環境美化専門員が監視パトロールを実施しました。 (3) 環境美化推進員及び環境美化指導員により地域の環境美化に係る啓発、指導等を行いました。 (4) 地域の環境美化活動の推進に寄与した1団体及び1名を表彰しました。 (5) 土地(あき地)の雑草の除去指導等を実施しました。																																			
	2 不法投棄対策 (1) 不法投棄ごみの回収及び監視パトロールを実施し、不法投棄の防止及び環境美化を図りました。 (2) 不法投棄禁止看板を23枚貸し出しました。不法投棄されたごみに警告シールを貼り付けました。 (3) 市民との協働により、自治会、アダプトプログラム活動団体等とともに地域清掃を行いました。 (4) 一般財団法人家電製品協会の補助制度を活用し、不法投棄された家電4品目、パソコン等の回収を行いました。																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">定期収集による回収</th> <th>ごみゼロ運動</th> <th colspan="2">不法投棄家電等回収台数</th> </tr> <tr> <th>回収量(t)</th> <th>件数(件)</th> <th>回収量(t)</th> <th>家電4品目</th> <th>パソコン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>8.23</td> <td>194</td> <td>3.16</td> <td>47</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>6.52</td> <td>164</td> <td>-</td> <td>21</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>3.77</td> <td>151</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>								定期収集による回収		ごみゼロ運動	不法投棄家電等回収台数		回収量(t)	件数(件)	回収量(t)	家電4品目	パソコン	令和元年度	8.23	194	3.16	47	0	令和2年度	6.52	164	-	21	1	令和3年度	3.77	151	-	10	0
		定期収集による回収		ごみゼロ運動	不法投棄家電等回収台数																															
		回収量(t)	件数(件)	回収量(t)	家電4品目	パソコン																														
	令和元年度	8.23	194	3.16	47	0																														
	令和2年度	6.52	164	-	21	1																														
	令和3年度	3.77	151	-	10	0																														
	3 動物死体処理 道路上等の動物の死体回収及び処理を行いました。 令和元年度 361件 令和2年度 347件 令和3年 352件																																			
	4 スズメバチ類駆除 スズメバチ類を駆除処理した土地の所有者等に補助金を交付しました。 補助件数：53件 補助金額：253,000円																																			
5 地域猫活動団体と情報交換を2回実施しました。																																				
事業の評価	妥当性評価	「健康都市おおぶ」みんなで美しいまちをつくる条例において、市は地域の環境美化の推進に関する必要な施策を策定し、実施するものとしています。																																		
	有効性評価	市民や環境美化推進員との協働で、地域の美化活動や不法投棄の監視などを行うことにより、清潔で快適な環境を保つことができました。																																		
	効率性評価	不法投棄ごみの回収及び動物死体処理を業務委託し、民間活力を効果的に活用しました。																																		
事業費	左の財源内訳																																			
	8,016,085	国県支出金	地方債	その他	一般財源																															
		0	0	2,102,430	5,913,655																															

113	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	127,861,849	113
	事務事業名称	環境基本計画推進事業					
	事業コスト(千円)	7,270	【うち人件費 6,644 うち減価償却費 250 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民・事業者・行政						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 市民・事業者・行政が協働して、環境に配慮した取組が実施されています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	環境基本計画基本方針指標目標達成率		20.0	／	50	%	
	クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府の活動回数		9	／	6	回	
	環境パートナーシップ会議の活動回数		17	／	5	回	
実施内容	<p>1 令和32年度温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ実現を見据えた第3次環境基本計画の運用及び進捗管理</p> <p>計画の実行・評価・改善の仕組みに従って適切な運用を図りました。</p> <p>(1) 環境基本計画推進会議の開催：新型コロナウイルス感染症の影響により6月に書面開催</p> <p>(2) 環境審議会を開催：2回（7月6日、3月は感染症対策により書面開催）</p> <p>(3) あいちゼロカーボン推進協議会への参加</p> <p>ゼロカーボンシティ支援ワーキンググループ及びゼロカーボン人材育成ワーキンググループに所属し、産学官のネットワーク構築と情報収集に努めました。</p> <p>2 クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府の活動支援</p> <p>鞍流瀬川・JR駅周辺を中心に地元の団体などが主導している環境保全活動を支援しました。新型コロナウイルス感染症に適應する形で、小規模エリアの活動で継続実施しました。</p> <p>活動拠点：9拠点（令和2年度：9拠点）</p> <p>3 環境パートナーシップ会議の協働推進</p> <p>市民・事業者・行政が協働して、地域課題解決に係る活動を推進しました。</p> <p>(1) 環境パートナーシップ会議の開催：2回（5月25日、11月9日）</p> <p>(2) 主な活動内容（活動回数：17回）</p> <p>①アサギマダラ飛来拠点プロジェクト（知多半島の各自治体、会議委員の連携）</p> <p>活動内容：知多半島ネットワーク情報交換会の開催、株分け講座</p> <p>②小学校と連携した生物多様性の啓発活動（豊田自動織機長草工場、小学校3校との連携）</p> <p>活動内容：地域河川のいきもの調査、小学校3校での在来種川魚の水槽展示</p> <p>③ダンボールコンポストの普及啓発（ナチュラルリターンクラブ、会議委員の連携）</p> <p>活動内容：げんきの郷・横根公民館（2回）・東山公民館で講座の開催</p> <p>④フードライブ活動との連携（子育て支援サークルあそびのいっぽ、地域との連携）</p> <p>活動内容：共和東自治区で食品の常設受入れを実施、横根自治区・共和西自治区・森岡自治区、北崎みどり会でイベント開催時に食品の受入れを実施</p>						
	事業の評価	妥当性評価	国の環境基本法に基づき策定した第3次大府市環境基本計画に定められた事業であるため、市が実施すべき事業です。				
	有効性評価	環境パートナーシップ会議、審議会等に外部委員を迎えることにより、環境基本計画の推進について、幅広い意見を反映することができました。					
	効率性評価	新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえ、各種会議の開催内容を検討し、必要な回数の会議開催とすることで安全性と効率化を図りました。					
事業費	左の財源内訳						
	324,889	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	324,889		

114	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	127,861,849	114
	事務事業名称	地球温暖化対策推進事業					
	事業コスト(千円)	26,235	【うち人件費 10,229 うち減価償却費 596 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民、事業者、本庁舎及び庁外施設の職員並びに協力団体						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 市民及び事業者の地球温暖化防止に関する意識が高まるとともに、一人ひとりの温暖化防止に関する取組が推進されています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	温室効果ガス排出量原単位の削減率		-8.1	／	-1	%	
	エネルギーの使用に係る原単位の削減率		0.3	／	-1	%	
				／			
実施内容	<p>1 エコライフ講座等の実施</p> <p>(1) 緑のカーテンの育成方法と効果についての講座及び種を植えたポットの配布を実施しました。 あいち健康の森薬草園と連携した環境講座（参加者数：19名）</p> <p>(2) ゼロカーボンシティの実現を目指し、国の「COOL CHOICE」推進と連携した地球温暖化対策の取組を実施しました。 中小企業向け省エネセミナー：2回、個別相談：7社、個別訪問による支援：6社 市民向け省エネ講座：8回</p> <p>2 公共施設における緑のカーテンの設置 緑のカーテンを公共施設に設置することにより、緑化促進を図るとともに、室内温度の上昇を抑えることで冷房にかかるエネルギー使用量の抑制を図りました。（対象施設：44施設）</p> <p>3 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金制度の運用 市民が行う創エネ・省エネ・蓄エネの取組を積極的に支援し、平時の温室効果ガス排出抑制に加え、災害時のエネルギー供給等が維持できる持続可能な脱炭素社会を推進しました。</p> <p>(1) 一体的導入（太陽光発電施設、HEMS、蓄電池）の補助件数：29件 (2) HEMS単体の補助件数：8件 (3) 蓄電池単体の補助件数：25件</p> <p>4 環境マネジメントシステムの運用及び進捗管理 自己宣言方式により環境マネジメントシステムを運用しました。</p> <p>(1) 環境保全推進会議の開催：1回（6月に感染症対策により書面開催） (2) 環境基本計画推進会議の開催：1回（6月に感染症対策により書面開催） (3) 環境審議会の開催：2回（7月6日、3月は感染症対策により書面開催）</p> <p>5 クリーンエネルギー自動車を活用したゼロカーボンシティの啓発 クリーンエネルギー自動車を購入し、イベントや講座等で活用することで、ゼロカーボンシティの普及啓発活動を実施しました。合わせてクリーンエネルギー自動車の啓発にも活用しました。</p>						
事業の評価	妥当性評価	急激な温度上昇による地球温暖化は、市民生活に甚大な被害が及ぶ可能性が指摘されており、取組の推進及び意識啓発は市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	身近な地球温暖化対策である省エネに関する講座を実施し、さらに公共施設にも緑のカーテンを設置することにより、広く意識啓発を図ることができました。					
	効率性評価	緑のカーテンの普及や省エネ講座に国や県の支援制度を活用し、コストの削減に努めました。					
事業費	左の財源内訳						
	18,094,896	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		2,511,000	0	4,738,000	10,845,896		

115	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	127,861,849	115																																						
	事務事業名称	ペット動物管理事業																																											
	事業コスト(千円)	10,379	【うち人件費 8,365 うち減価償却費 209 】																																										
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)																																												
	犬・猫等の飼養者																																												
事業の目的	目指す成果(対象をどのようにしたいのか)																																												
	飼養犬の登録を増やすとともに、狂犬病予防注射の接種率が向上し、ペットの飼い方のマナーが向上しています。																																												
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位																																							
	狂犬病予防注射接種率		87.5	／	91.0	%																																							
	犬のふん持ち帰り啓発看板貸与数		63	／	100	枚																																							
				／																																									
実施内容	1 転出した方の飼い犬や死亡している犬の登録情報を精査し、犬登録システムの情報を適切に管理しました。																																												
	2 犬の登録、狂犬病予防注射の案内通知を登録犬の飼い主に郵送するとともに、犬の登録や狂犬病予防注射の接種を広報紙や市公式ウェブサイト等により啓発しました。																																												
	3 狂犬病予防注射の未実施犬の飼い主に、はがきや電話により督促を実施しました。																																												
	4 愛知県獣医師会と委託契約を結び、動物病院で狂犬病予防注射と同時に登録鑑札と注射済票を交付しました。																																												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">登録数(頭)</th> <th colspan="2">新規登録(頭)</th> <th colspan="2">狂犬病予防注射接種数(頭)</th> <th rowspan="2">接種率 (%)</th> </tr> <tr> <th>総数</th> <th>集合分</th> <th>総数</th> <th>集合分</th> <th>総数</th> <th>集合分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>4,980</td> <td>382</td> <td>5</td> <td></td> <td>4,444</td> <td>791</td> <td>89.2</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>5,000</td> <td>511</td> <td>0</td> <td></td> <td>4,389</td> <td>0</td> <td>87.8</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>5,004</td> <td>457</td> <td>0</td> <td></td> <td>4,381</td> <td>0</td> <td>87.5</td> </tr> </tbody> </table>						登録数(頭)		新規登録(頭)		狂犬病予防注射接種数(頭)		接種率 (%)	総数	集合分	総数	集合分	総数	集合分	令和元年度	4,980	382	5		4,444	791	89.2	令和2年度	5,000	511	0		4,389	0	87.8	令和3年度	5,004	457	0		4,381	0	87.5
		登録数(頭)		新規登録(頭)		狂犬病予防注射接種数(頭)			接種率 (%)																																				
		総数	集合分	総数	集合分	総数	集合分																																						
令和元年度	4,980	382	5		4,444	791	89.2																																						
令和2年度	5,000	511	0		4,389	0	87.8																																						
令和3年度	5,004	457	0		4,381	0	87.5																																						
5 犬のふんの放置を警告するため、市民へ啓発看板を貸し出しました。																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>貸出数(枚)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table>						貸出数(枚)	令和元年度	93	令和2年度	101	令和3年度	63																															
	貸出数(枚)																																												
令和元年度	93																																												
令和2年度	101																																												
令和3年度	63																																												
6 人と犬及び猫が共生する地域社会を実現するため、終生飼養や災害に対する備え、マイクロチップ装着の奨励等について定めた「大府市人と犬及び猫との共生に関する条例」を制定し、令和3年12月22日に公布しました。																																													
事業の評価	妥当性評価	飼い犬の登録及び狂犬病予防接種は、狂犬病予防法により義務付けられているため、市が実施すべき事業です。																																											
	有効性評価	狂犬病の発生を防ぐためには、狂犬病予防注射が最も有効な手段です。																																											
	効率性評価	動物病院でも登録鑑札及び注射済票の交付が受けられるようにすることにより、市民の利便性の向上と事務の効率化を図っています。																																											
事業費	左の財源内訳																																												
	1,748,414	国県支出金	地方債	その他	一般財源																																								
		0	0	1,748,414	0																																								

116	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	127,861,849	116	
	事務事業名称	知北平和公園組合事業						
	事業コスト(千円)	95,896	【うち人件費 1,016 うち減価償却費 30 】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）							
	知北平和公園の斎場と霊園 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 滞りない火葬の実施とともに、需要に対応した墓地の提供が行われています。							
評価指標	指標名				令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位
	負担金額				94,843	／	97,740	千円
						／		
						／		
実施内容	1 火葬件数							
			人体（人）		動物（匹）			
			総数	大府市	総数	大府市		
	令和元年度	2,054	688	2,904	893			
	令和2年度	2,162	703	2,769	883			
	令和3年度	2,306	733	2,795	937			
	2 墓地募集							
			1次募集(5月12日～21日)		2次募集(7月12日～21日)			
			募集区画数	応募者数	募集区画数	応募者数		
	令和元年度	40	28	53	28			
令和2年度	40	18	61	14				
令和3年度	30	8	51	27				
3 負担金額（千円）								
		組合全体			大府市			
		R1	R2	R3	R1	R2	R3	
斎場事業	168,453	170,887	194,323	60,390	61,400	70,034		
事務費	26,990	27,553	31,756	9,540	9,757	11,273		
霊園事業	31,348	34,362	37,557	11,238	12,346	13,536		
計	226,791	232,802	263,636	81,168	83,503	94,843		
4 施設整備								
(1) 斎場工事（火葬炉等修繕工事、空調設備部品更新工事）								
(2) 霊園工事（園路舗装更新工事（B区画）、樹根侵入防止工事）								
(3) 公園工事（芝生広場トイレ洋式化工事、受水槽定水位弁更新工事）								
(4) 組合事務所工事（事務所会議室空調機更新工事）								
(5) 新斎場建設基金積立金（令和3年度組合積立額 100,000千円）								
事業の評価	妥当性評価	墓地及び火葬場の運営は、公衆衛生や公共の福祉の見地から公益性及び持続性が確保される必要があるため、市（一部事務組合）で実施すべき事業です。						
	有効性評価	施設の維持補修及び墓地の整備を計画的に実施し、斎場・霊園事業を円滑に運営しました。						
	効率性評価	一部事務組合で斎場・霊園事業の運営を行うことにより、運営経費を2市1町で分割して負担しています。						
事業費	左の財源内訳							
	94,843,000	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		0	0	0	94,843,000			

118	款・項・目	4・1・6	目名称	公害対策費	目の決算額	7,142,101	118
	事務事業名称	公害防止協定推進事業					
	事業コスト(千円)	4,963	【うち人件費 4,298 うち減価償却費 162 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	事業所 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 公害防止協定の締結により自主的な環境対策の取組を促進し、公害の発生が防止されています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	公害防止協定締結事業所等調査の適合率		90.3	／	100	%	
	公害防止協定締結事業所から発生する公害苦情		1	／	0	件	
				／			
実施内容	1 公害防止協定締結事業所への調査						
	(1) 公害防止協定締結事業所に、定期調査を実施しました。 調査内容 (1) 重油中の硫黄分調査（使用事業所がないため0社） (2) 工場排水水質調査（15社）年2回（7月・1月） (3) 騒音調査（32社）年1回（6月） (4) 振動調査（対象となる新規事業所がないため0社） 協定値適合率 [R1年度90.7% R2年度92.0% R3年度90.3%] 内訳 (1) 重油中の硫黄分調査 [R1年度未実施 R2年度未実施 R3年度未実施] (2) 工場排水水質調査 [R1年度90.9% R2年度90.0% R3年度90.0%] (3) 騒音調査 [R1年度90.6% R2年度93.9% R3年度90.6%] (4) 振動調査 [R1年度未実施 R2年度未実施 R3年度未実施]						
事業の評価	妥当性評価	公害防止協定の締結により事業所の自主的な環境対策を促し、公害の発生や苦情を未然に防ぐことができるため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	公害防止協定締結事業所に対して各種調査を実施し、協定値を超過している事業所を指導することにより、公害発生の低減に努めることができました。					
	効率性評価	公害防止協定の締結を産業立地促進奨励金交付の条件にすることにより、効果的に協定締結の推進を図ることができました。					
事業費	左の財源内訳						
	469,150	国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	469,150		

119	款・項・目	4・1・6	目名称	公害対策費	目の決算額	7,142,101	119
	事務事業名称	水質環境保全事業					
	事業コスト(千円)	3,324	【うち人件費 1,907 うち減価償却費 68 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 下水道等未整備区域を中心とした市民						
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 河川等の汚濁状況の認識を深め、家庭でできる生活排水対策を実施することにより、家庭からの生活排水の汚濁が防止されています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	合併処理浄化槽設置費用補助基数		6	／	10	基	
	合併処理浄化槽法定検査結果に基づく勧告件数		129	／	126	件	
				／			
実施内容	1 公民館まつり等のイベントにおいて、啓発グッズの配布やパネルの展示による生活排水対策を啓発しました。						
	2 市公式ウェブサイトによる啓発を実施し、くみ取り便槽の使用者に合併処理浄化槽設置事業費補助金の案内を送付しました。						
	3 単独処理浄化槽又はくみ取り便槽を廃止して、合併処理浄化槽を設置する市民に対し補助金を交付することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を図るとともに、生活環境の保全及び環境衛生の向上を図りました。 (1) 補助金交付実績 補助基数 R1年度：0基、R2年度：3基、R3年度：6基 補助金交付 R1年度：0円、R2年度：600,000円、R3年度：1,260,000円 (2) 補助金単価 5人槽：180,000円、6～7人槽：240,000円、8～10人槽：300,000円						
	4 合併処理浄化槽法定検査結果に基づく勧告 一般社団法人愛知県薬剤師会から浄化槽管理者へ適正管理を勧告しました。 勧告件数 7条検査：26件、11条検査：129件						
事業の評価	妥当性評価	合併処理浄化槽の設置を促進することは、水路や河川などの公共水域の水質を保つことができるため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進することにより、生活環境の保全及び環境衛生の向上に寄与することができます。					
	効率性評価	下水道未普及地域では、合併処理浄化槽を設置することにより、効率的に生活排水を浄化することができます。					
事業費	左の財源内訳						
	1,335,382	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		476,000	0	0	859,382		

120	款・項・目	4・1・7	目名称	健康都市推進費	目の決算額	22,706,625	120
	事務事業名称	健康都市推進事業					
	事業コスト(千円)	37,851	【うち人件費 22,592 うち減価償却費 897 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	市民及び市域 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 健康づくりに取り組む市民、企業、地域が増え、「健康都市おおぶ」としてまちが活性化しています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位	
	「健康都市おおぶ」推進会議回数		2	/	2	回	
	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(愛知県「特定健診・特定保健指導データ分析・評価」)		42.9	/	50.0	%	
実施内容	1 「健康都市おおぶ」推進会議の開催 (1) 内容 「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進プランの進捗管理、健康プログラムの実施、健康経営の推進及び地域包括ケア推進ビジョンの普及啓発並びに新型コロナウイルス感染症対策等に関して意見を聴取しました。 (2) 開催回数 R1年度：3回、R2年度：2回、R3年度：2回(うち1回は書面開催)						
	2 WHO健康都市推進会議の開催 (1) 内容 コロナ禍における各課の取組について振り返り、知見を共有するとともに、これまでの取組を活かした事業や、ニューノーマルとして活用できる事業に整理しました。 (2) 開催回数 R1年度：3回、R2年度：1回、R3年度：1回						
	3 健康都市連合加盟団体等との交流・情報交換 (1) 第9回健康都市連合国際大会 11月3～5日にオンラインで開催された第9回健康都市連合国際大会において、本市の新型コロナウイルス感染症に対する取組及びウェルネスバレーの取組について、それぞれ発表しました。表彰論文に応募し、本市における運動分野の取組がWHO表彰を受賞しました。また、健康都市の進捗評価として、AFHG表彰(グッド・インフラストラクチャー賞)を受賞しました。 (2) 健康都市連合日本支部総会 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面開催となりました。 (3) 健康寿命延伸都市協議会総会・大会 厚生労働省「健康寿命を延ばそう!アワード」受賞自治体で構成される協議会の総会・大会に出席し、本市の取組をPRしました。						
	4 健康都市や地域包括ケアシステムに関する総合的な企画及び調整の実施 (1) 大府市健康プログラムの実施 スポーツ庁の補助金を活用し、市内企業等と連携して大府市健康プログラムを実施しました。 ア プログラム参加者数 R1年度：829人、R2年度：833人、R3年度：605人 イ 実施内容 チーム対抗歩数イベント、新居浜市(交流都市)との合同歩数イベント、測定会や健康相談・健康情報配信による継続支援、健康プログラムを活用した健康経営推進						
事業の評価	妥当性評価	健康都市や地域包括ケアの推進のため、事業者や地域組織、関係団体等と連携しながら、必要な施策を検討し、総合的な企画調整を実施することは、「健康都市おおぶ」を実現するために必要な事業です。					
	有効性評価	事業者や地域組織、関係団体等多様な主体と連携しながら健康都市の実現に向けた取組を進め、WHO表彰という国際的な評価につなげることができました。					
	効率性評価	大府市健康プログラムはスポーツ庁補助金を活用し、市の負担を最小限に抑えながらも、民間事業者等の知見を活かして効果的に事業を実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	22,706,625	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		9,907,000	0	2,802,800 (基金1,993,600)	9,996,825		

120	款・項・目	4・1・7	目名称	健康都市推進費	120
	事務事業名称	健康都市推進事業			
	事業コスト(千円)				
<p>(2) 健康経営の推進</p> <p>市内事業所の健康経営を推進するため、連携協定締結先である大府商工会議所及び全国健康保険協会（協会けんぽ）愛知支部との共催セミナーを開催しました。また、広報番組「スマイルおおぶ」で普及啓発を行ったほか、市内事業所を訪問し個別に啓発を実施しました。</p> <p>健康経営優良法人認定法人数（本社を大府市におく法人数） R2年度:21社、R3年度：29社</p> <p>(3) 認知症に関する普及啓発</p> <p>幅広い世代が自分事として認知症の理解を深められるよう、啓発用パンフレットを刷新し、一般用と子ども向けの2種類を作成しました。9月の世界アルツハイマー月間に、市庁舎及びOBUオレンジリングモニュメントをライトアップし、市民健康ロビーに啓発用横断幕を設置しました。</p> <p>(4) ウォーキング環境の整備</p> <p>「自然観察と金メダルコース」に看板及びウォーキングサインを設置し、周知啓発を行いました。</p> <p>5 至学館大学と連携したPCR検査事業費の補助</p> <p>新型コロナウイルス感染症の罹患者が発生した高齢者・障がい者施設や幼児教育保育施設等において、早期に感染者を把握し、更なる感染拡大を防ぐため、PCR検査実施に係る費用に対する補助を行いました。</p> <p>検査実施費用補助実績 R2年度：67件、R3年度：712件（検査件数）</p>					

121	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	目の決算額	741,218,248	121
	事務事業名称	ごみ減量化推進事業					
	事業コスト(千円)	7,236	【うち人件費 4,298 うち減価償却費 162 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民から排出されるごみ 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 4Rの推進により、ごみの減量が図られています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	家庭系ごみ（資源除く）の一人1日当たりの排出量		532	／	510	g/人・日	
	事業系ごみ（資源除く）の一人1日当たりの排出量		112	／	125	g/人・日	
実施内容	1 ごみの減量と資源の分別について、小学校4年生及び婦人会役員等を対象に環境学習出前講座を6回実施しました。						
		環境学習出前講座対象 小学4年生(人)	地域等の出前講座(人)	合計(人)			
	令和元年度	947	11	958			
	令和2年度	0	70	70			
	令和3年度	959	55	1,014			
	2 生ごみの減量化施策として、生ごみたい肥化容器の購入補助を行うとともに、アスパ（EMボカシ）を毎月15日から月末まで各公民館、石ヶ瀬会館、市役所で市民に無料で配布しました。						
	生ごみたい肥化容器補助 基数(基)	補助額(円)	アスパ配布数 (袋)				
令和元年度	14	18,900	23,225				
令和2年度	28	61,000	16,775				
令和3年度	28	56,200	19,250				
3 ごみの分別の徹底や減量化に役立てるため、家庭から出されるごみの組成調査を2回（可燃、不燃）実施しました。（燃やせるごみに含まれる資源の割合 23.0%、燃やせないごみに含まれる資源の割合 12.7%、燃やせるごみに含まれる未開封食品等の割合 4.9%）							
4 一人1日当たりのごみ（資源除く）の排出量（g/人・日）							
	家庭系	事業系	合計				
令和元年度	524	130	654				
令和2年度	535	115	650				
令和3年度	532	112	644				
5 公民館の料理講座講師の協力により、食材を無駄にしないエコクッキングレシピを2品開発し、レシピを市公式ウェブサイトへ掲載しました。							
6 市内河川7か所にゴミ回収用ネットを試験設置し、その調査結果を広報おおぶ及び市公式ウェブサイトに掲載して啓発しました。							
事業の評価	妥当性評価	ごみ処理施設の処理能力や最終処分場の埋立容量には限度があるため、ごみの減量化を推進することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	循環型社会を構築するためには、4Rの推進によるごみの減量が重要です。					
	効率性評価	小学校や地域等において、出前講座を行うことにより、多くの市民にごみ減量に関する正しい知識を広めることができました。					
事業費	左の財源内訳						
	2,742,417	国県支税金	地方債	その他	一般財源		
0		0	0	2,742,417			

122	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	目の決算額	741,218,248	122
	事務事業名称	資源回収事業					
	事業コスト(千円)	157,541	【うち人件費 4,565 うち減価償却費 168 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民・事業者から排出される資源						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 市民の協力を得て分別回収を推進し、資源回収量が増加しています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	出前講座（環境学習）受講者数		1,014	／	929	人	
	家庭系可燃ごみにおける資源の混入割合		23.0	／	22.0	%	
				／			
実施内容	1 資源回収						
	(1) 市内466か所の地域の資源回収ステーションと8か所の公共資源ステーションで資源回収を実施しました。						
	(2) 自治区、自治会等に資源の当日出し及び月2回収の実施を呼び掛けました。						
	(3) 公民館、児童老人福祉センター等市内71か所で使用済乾電池を回収し資源化しました。						
	(4) 資源回収業者、自治区、警察等と情報を共有し、資源の持ち去り監視強化を啓発しました。						
	(5) 各公民館、石ヶ瀬会館及び市役所で使用済小型電子機器等を回収しました。また、アフターメダルプロジェクトとして社会福祉法人等と連携し携帯電話を回収しました。						
	(6) 市役所及び公共資源ステーションでペットボトルキャップの回収を実施しました。						
	(7) 共長公民館で羽毛ふとんをイベント回収しました。						
	(8) 横根地区全域で家庭系生ごみ分別収集モデル事業を実施しました。						
	家庭系資源回収量等実績						
		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	総回収量	t	4,173	4,003	3,969		
	紙類	t	2,143	2,010	1,994		
	鉄類	t	173	185	176		
	ペットボトル	t	169	172	178		
	プラスチック製容器包装	t	306	334	352		
	びん類	t	628	643	585		
	乾電池	t	16	18	18		
	新聞販売店自主回収	t	721	618	649		
	小型電子機器等	t	17	23	17		
	資源再利用推進報償金	円	11,729,290	11,254,800	13,062,460		
事業の評価	妥当性評価	循環型社会形成推進基本法により、地方公共団体は循環資源について適正に循環的な利用及び処分が行われることを確保するために、必要な措置を実施することとされていることから、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	適正な資源循環を促進することにより、天然資源の消費が抑制され、環境に与える負荷が低減できます。					
	効率性評価	自治区や班、組等の協力により、地域の資源回収を効率的に実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	152,772,831	国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	8,516,161	144,256,670		

122	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	122
	事務事業名称	資源回収事業			
	事業コスト(千円)				

- 2 4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の啓発
- (1) 「ごみと資源」をテーマにした出前講座を地域で6回実施しました。
 - (2) ちらし、広報、市公式ウェブサイトなどで資源の正しい分別方法を啓発しました。
 - (3) 資源回収ステーションの利用を啓発することにより、資源回収量の増加と家庭系可燃ごみにおける資源の混入割合の減少に努めました。

家庭系可燃ごみにおける資源の混入割合

	混入割合(%)
令和元年度	24.4
令和2年度	15.5
令和3年度	23.0

実施
内容

123	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	目の決算額	741,218,248	123																																																																																																		
	事務事業名称	東部知多衛生組合事業																																																																																																							
	事業コスト(千円)	595,090	【うち人件費 8,989 うち減価償却費 329 】																																																																																																						
事業の目的	<p>対象（何を、誰を対象として） ごみ、し尿・浄化槽汚泥の処理施設と余熱利用としてのプール</p> <p>目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 施設の適正運用及び維持管理を行います。</p>																																																																																																								
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位																																																																																																			
	負担金額		585,703	／	660,003	千円																																																																																																			
				／																																																																																																					
				／																																																																																																					
実施内容	<p>1 議会の開催 定例会 2回、臨時会 1回</p> <p>2 施設整備 マテリアルリサイクル施設建設工事</p> <p>3 修繕工事 クリーンセンター 4件、浄化センター 9件、温水プール 1件、大東処分場 1件</p> <p>4 クリーンセンター、浄化センター、温水プールの運営状況</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">組合全体</th> <th colspan="3">大府市</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クリーンセンター 実績（t）</td> <td>焼却処理量</td> <td>53,514</td> <td>53,586</td> <td>52,053</td> <td>21,235</td> <td>21,109</td> <td>20,879</td> </tr> <tr> <td>破碎処理量</td> <td>1,990</td> <td>2,221</td> <td>1,961</td> <td>857</td> <td>982</td> <td>915</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">浄化センター 実績（t）</td> <td>し尿処理量</td> <td>3,577</td> <td>3,413</td> <td>3,091</td> <td>1,381</td> <td>1,224</td> <td>1,034</td> </tr> <tr> <td>浄化槽汚泥処理量</td> <td>36,843</td> <td>37,015</td> <td>38,237</td> <td>13,372</td> <td>14,096</td> <td>14,358</td> </tr> <tr> <td colspan="2">温水プール利用者数（人）</td> <td>-</td> <td>14,921</td> <td>23,387</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5 負担金額（千円）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">組合全体</th> <th colspan="3">大府市</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">し尿関係</td> <td>193,278</td> <td>223,056</td> <td>214,301</td> <td>69,777</td> <td>82,745</td> <td>81,536</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ごみ関係</td> <td>561,682</td> <td>1,012,259</td> <td>1,214,641</td> <td>208,595</td> <td>385,219</td> <td>469,119</td> </tr> <tr> <td colspan="2">温水プール関係</td> <td>235,921</td> <td>73,240</td> <td>67,519</td> <td>122,015</td> <td>37,878</td> <td>35,048</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>990,881</td> <td>1,308,555</td> <td>1,496,461</td> <td>400,387</td> <td>505,842</td> <td>585,703</td> </tr> </tbody> </table>									組合全体			大府市			R1	R2	R3	R1	R2	R3	クリーンセンター 実績（t）	焼却処理量	53,514	53,586	52,053	21,235	21,109	20,879	破碎処理量	1,990	2,221	1,961	857	982	915	浄化センター 実績（t）	し尿処理量	3,577	3,413	3,091	1,381	1,224	1,034	浄化槽汚泥処理量	36,843	37,015	38,237	13,372	14,096	14,358	温水プール利用者数（人）		-	14,921	23,387						組合全体			大府市			R1	R2	R3	R1	R2	R3	し尿関係		193,278	223,056	214,301	69,777	82,745	81,536	ごみ関係		561,682	1,012,259	1,214,641	208,595	385,219	469,119	温水プール関係		235,921	73,240	67,519	122,015	37,878	35,048	計		990,881	1,308,555	1,496,461	400,387	505,842	585,703
			組合全体			大府市																																																																																																			
			R1	R2	R3	R1	R2	R3																																																																																																	
	クリーンセンター 実績（t）	焼却処理量	53,514	53,586	52,053	21,235	21,109	20,879																																																																																																	
		破碎処理量	1,990	2,221	1,961	857	982	915																																																																																																	
	浄化センター 実績（t）	し尿処理量	3,577	3,413	3,091	1,381	1,224	1,034																																																																																																	
		浄化槽汚泥処理量	36,843	37,015	38,237	13,372	14,096	14,358																																																																																																	
	温水プール利用者数（人）		-	14,921	23,387																																																																																																				
			組合全体			大府市																																																																																																			
			R1	R2	R3	R1	R2	R3																																																																																																	
し尿関係		193,278	223,056	214,301	69,777	82,745	81,536																																																																																																		
ごみ関係		561,682	1,012,259	1,214,641	208,595	385,219	469,119																																																																																																		
温水プール関係		235,921	73,240	67,519	122,015	37,878	35,048																																																																																																		
計		990,881	1,308,555	1,496,461	400,387	505,842	585,703																																																																																																		
事業の評価	妥当性評価	一般廃棄物の処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村の事務と規定されているため、市（一部事務組合）で実施すべき事業です。																																																																																																							
	有効性評価	収集したごみ、し尿及び浄化槽汚泥を適正かつ安定的に処理することにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることができました。																																																																																																							
	効率性評価	一部事務組合でごみ処理施設等を運営することにより、運営経費を2市2町で分割して負担しています。																																																																																																							
事業費	左の財源内訳																																																																																																								
	585,703,000	国県支支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																				
		0	0	0	585,703,000																																																																																																				

124	款・項・目	4・2・2	目名称	清掃処理費	目の決算額	285,800,614	124
	事務事業名称	廃棄物収集処理事業					
	事業コスト(千円)	262,978	【うち人件費 5,994 うち減価償却費 153 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民から排出されるごみ 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 迅速かつ適正に収集されています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位	
	午前中回収の未完了件数（平常時）		0	/	0	回	
	違反ごみへの警告シール貼付数		3,872	/	4,350	枚	
実施内容	1 継続的かつ安定的なごみ収集を実施しました。 家庭系収集ごみの量（直接搬入ごみを除く）						
		燃やせるごみ (t)	燃やせないごみ (t)	合計 (t)	前年度比 (%)	一人1日当たり (g/人・日)	
	令和元年度	15,965	678	16,643	1.69	492	
	令和2年度	16,263	774	17,037	2.37	502	
	令和3年度	16,188	745	16,933	△0.61	500	
	2 ごみの排出ルール及び分別方法を、ごみ資源案内の冊子、市公式ウェブサイト及び広報により啓発しました。						
	3 違反ごみに警告シールを貼り付けし、違反者へのごみ出しルールの周知を図りました。 令和元年度 3,788枚 令和2年度 3,776枚 令和3年度 3,872枚						
	4 ごみ収集場所の新設、移設及び分散化について、市民や開発業者と協議を行い対応しました。						
	5 ごみ収集に関する苦情に対し、委託業者と連携して、迅速な対応を図りました。						
	6 ごみの量が多いゴールデンウィークや年末年始を除き、午前中にごみ収集を完了しました。						
7 粗大ごみの戸別収集を実施しました。 令和元年度 633個 令和2年度 781個 令和3年度 757個							
8 指定ごみ袋を取扱店を通じて販売し、市民に安定的に供給しました。 指定ごみ製造原価（単位：円/10枚・税抜き）							
		大(45ℓ)	中(30ℓ)	小(20ℓ)			
令和元年度	73	49	37				
令和2年度	66	46	34				
令和3年度	157	111	95				
9 指定ごみ袋の素材の一部をバイオマスプラスチック製とし、環境に配慮したごみ袋にしました。							
10 保育園、小中学校から出る給食の残菜を、横根バイオガス発電施設にてリサイクルしました。							
事業の評価	妥当性評価	一般廃棄物の収集及び処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村の事務と規定されているため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	午前中にごみを収集することで、ごみの散乱や不法投棄などを抑制し、生活環境を良好に保つことができました。					
	効率性評価	人口の増加や宅地開発によりごみ収集場所が増加していますが、民間のノウハウを活用することにより効率的な収集を行うことができました。					
事業費	左の財源内訳						
	256,786,013	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	256,786,013		

125	款・項・目	4・2・2	目名称	清掃処理費	目の決算額	285,800,614	125
	事務事業名称	し尿収集処理事業					
	事業コスト(千円)	34,634	【うち人件費 5,423 うち減価償却費 156 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市内のくみ取り世帯等で発生するし尿						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 適正に収集し、処理されています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位	
	現年度分の収納率		99.7	/	99.0	%	
	滞納繰越分の収納率		100	/	90.0	%	
				/			
実施内容	1 し尿収集運搬 下水道・浄化槽に未接続の家庭や事業所のし尿を収集し、浄化センターへ運搬しました。						
		定額制平均世帯数 (世帯)	従量制月平均本数 (本：1本は36ℓ)				
	令和元年度	249	2,306				
	令和2年度	237	2,096				
	令和3年度	228	1,822				
	2 し尿清掃手数料の徴収 滞納者に対して督促状を6回、催告書を2回送付するとともに、電話督促や訪問徴収を行いました。						
	(1) 現年度分						
		調定額(円)	収入額(円)	収納率(%)	口座振替 実施件数(件)		
	令和元年度	10,495,241	10,388,869	99.0	2,054		
	令和2年度	10,080,540	10,013,302	99.3	2,001		
令和3年度	8,748,133	8,719,337	99.7	1,941			
(2) 滞納繰越分							
	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)	収納率(%)		
令和元年度	158,800	115,240	6,060	37,500	72.6		
令和2年度	143,872	143,872	0	0	100		
令和3年度	67,238	67,238	0	0	100		
3 し尿収集車の脱臭管理を適切に行い、し尿の収集時に発生する悪臭を抑えることができました。							
事業の評価	妥当性評価	し尿の収集及び処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村の事務とされているため、市が処理すべき事業です。					
	有効性評価	し尿を適正に収集し、処理することは、衛生的な生活環境を保全するために有効です。					
	効率性評価	民間事業者に収集運搬を委託することにより、効率的に事業を実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	29,014,601	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	8,786,575	20,228,026		